

こだいらしょうがいしゃ
せいかつおうえんがいど
お～えん

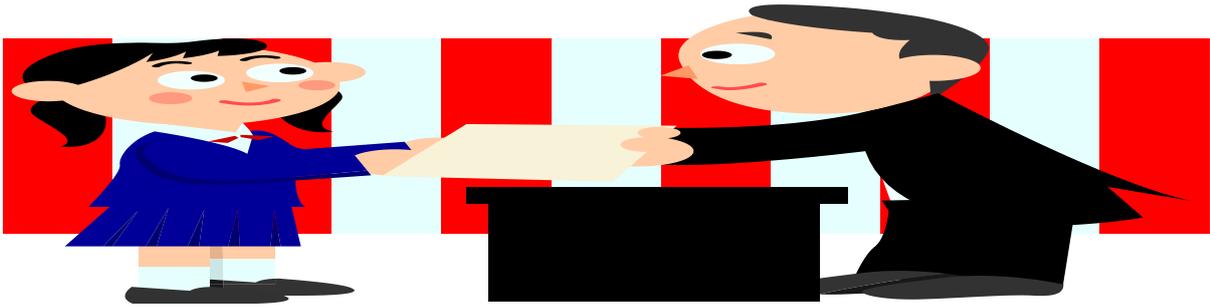
だいはちごう
へいせい26ねん
2がつ10か

こだいら障がい者 生活応援ガイド

お～えん



第8号
平成26年2月10日



とくしゅう

☆特集 「はたらく」 その3

～ 卒^{そつぎょうご}業^{しんろ}後の進路について～

こだいら^{しょう} 障^{しゃ}がい者^{せいかつ}生活^{おうえん}応援ガイド「お～えん」初のシリーズとして、3号連続で

「はたらく」を特集しています。3回目の今回は、「卒^{そつぎょうご}業^{しんろ}後の進路について」です。

障^{しょう}がいのある方^{かた}が、学校^{がっこう}などを卒^{そつぎょう}業してどのようにすれば会社^{かいしゃ}や作業所^{さぎょうじょ}などで働

くことができるのか？地域^{ちいき}で安心^{あんしん}して過^すごすためにはどうしたらよいのか？一^{いっしょ}緒

に考^{かんが}えていけたらと思^{おも}います。

※主に特別支援学校等を卒業する方の、進路や地域生活を送る上での支援について、さまざま

な立場の方からコメントを寄せていただきました。

★保護者の立場から

学校卒業後の生活は、学校生活の何倍も長い年月になります。これまで学校生活しか経験のない中、「はたらく場」に出ていくことは、本人にとって社会への大きな一歩です。

親としては、時には見守り、時には励ましながら自立への道を行ってほしいと願うしかありません。たくさんの人たちの支援がなければ仕事や作業がうまくいかないこともあると思いますし、うまくできなくても、「はたらく場」は必要です。それが生活の基盤となつて、仲間ができたり、相談できる支援者が増えたり、好きなことでリフレッシュできたり、安心して暮らしていくことができると思います。市内にも、「小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき」や「小平市障害者就労・生活支援センター ほっと」など、相談できる場が増えました。自分の気持ちを伝えにくい本人の困りごとを職場などに伝える橋渡し役となっています。相談機関が、家族とともに卒業後の本人たちを支援することで住みやすい地域になってほしいと思います。

小平手をつなぐ親の会 大島 雅子

★学校の立場から

小平特別支援学校（肢体不自由特別支援学校）は、車いす利用者など、身体的に重度の障がいがある人が多く、卒業後、企業就労や作業所に通所している方もいらっしゃいますが、ほとんどの人は生活介護施設を利用しています。卒業後も地域で長く安定した生活を営むことができるように、相談できる場所（機関）があることはとても重要です。また、余暇活動などを充実し心も体もリフレッシュすることで、より生き生きとした地域生活を送ることができます。そこで学校では在学中から移動支援（ガイドヘルパー）を利用したり、家族の負担を軽減するためにショートステイなど、福祉サービスの利用を積極的に進めています。スムーズに地域生活に移行できるように、学校在学中に作成した個別移行支援計画をもとに引継ぎをしっかりと行います。

小平特別支援学校・進路担当 林崎 堅司

★通所先（作業所）の立場から

就労継続支援B型や生活介護などの通所施設は、活動内容によっておおまかに2つに分けられます。ひとつは文化活動・レクリエーション活動やリハビリ等の健康のとりくみなどを中心に行っている通所施設です。もうひとつは活動の中心を「はたらく」ことにおいている通所施設です。作業をしている通所施設ではお弁当・クッキーなどの食品関係、木工作業、縫製作業、織物、パソコンを使つての印刷作業、ダイレクトメールなど会社から仕事をもらつて行う受注作業、公園清掃など多様な作業がとりくまれています。変わつていくところでは人形劇の公演を仕事にしている作業所もあります。また、はたらく時間も比較的短時間のところから一般の会社に近いところもあります。毎年「小平の通所施設案内」の冊子が作られていますので、活動内容や給料、送迎、通所日、利用料などをよく調べて、自分が通いたいと思う通所施設を選択してください。また、実際に見学や実習などをやってみることも大切です。

あさやけ風の作業所 施設長 中川 幸夫

しょう しょうじゅうろうしえん たちば
★障がい者就労支援の立場から

特別支援学校を卒業して、一般就労として社会に出て「はたらく」人は、年々増えています。学校の高等部では、早い段階から企業見学に行ったり、企業実習に行くなどして、「はたらく」とはどういうことなのか？「お給料をもらう」とはどういうことなのかを、しっかり学んでから働きに行っていると感じます。学校生活とは違い、夏休みも短く、土曜日や日曜日にお仕事をしたり、朝早くから働きに行っている方もいらっしゃいます。時には会社の先輩や、お客さんから怒られたりして、悔しい思いをしている方もいるのではないかと思います。でも、「働いて、お給料をもらうこと」、お金に換えられなくても「ありがとうなどの感謝の言葉や気持ちを励みにして」仕事にやりがいを持っている人もいて、就労支援をしている相談機関としては、会社の担当の人から、「一生懸命頑張っていますよ」という言葉をかけてもらえるのが、職場訪問をした時の何よりの喜びです。みなさんがお仕事を頑張っている中で、時には気分転換をしたり、リフレッシュしたり、不安や悩みを話すことも大切な「はたらく」ことの1つです。ぜひ、市内にある相談機関を利用してほしいと思っています。

こたいらししょうがいはしゅうろう せいかつしえん センターほっと まえかわ まりこ
小平市障がい者就労・生活支援センターほっと 前川 真理子

ちいきそうだんしえん たちば
★地域相談支援センターの立場から

「小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき」は福祉会館の2階にあります。ひびきではみなさんが、これから自立するためのお手伝いをしています。たとえば、作業所で働きたい、休みの日はどう過ごしたらよいだろう、自分のお金はどのくらい使えるのか、グループホームで生活したい、一人暮らしがしたいなど、希望や心配を一緒に考えて実現するためのお手伝いをしています。相談できる日は、月曜日から土曜日です。相談には予約が必要です。また、仕事のあとや休みの日に立ち寄って、気分転換する交流室もあります。くらぶやイベントもあります。

市内には他には、「地域生活支援センターあさやけ」という生活支援を行う相談機関があり、精神に障がいのある方の気軽な相談場所・交流の場になっています。市内では、就労・生活支援センター ほっとなどの関係機関と連携し、障がいのある方の、「はたらく」ということについても、地域で安心して生活していくことについても、支援を行っています。

こたいらししょうがいはしゅうろう せいかつしえん センターひびき いながき ようすけ
小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき 稲垣 洋介

そつぎょうご しんろ とうじしゃ こえ
★卒業後の進路について（当事者の声）

私は昨年の3月に学校を卒業し、会社に就職しましたが、夏に辞めてしまいました。その後反省し、今は新しい会社でデータ入力などの仕事を頑張っています。今度は前の会社の時と同じようにならないようにしたいです。

私の夢は、バイオリニストになることです。 Y・Yさん 18歳・男性



私は特別支援学校卒業後、病院のデイケア2カ所に合計4年通いましたが、2カ所目のデイケアを卒業するにあたって、今の作業所を知り、通うようになりました。今の作業所に入って、3年が経とうとしています。今の生活はとても充実しています。

I・Tさん 25歳・男性

★第8号まで、3回シリーズで「はたらく」を特集しました。一般就労（障がい者雇用）、福祉的就労（作業所など）なども含め、障がいのある方が地域で安心して「はたらく」ことを、「生活する」「すごす」ことを、私たちはこれからも「お～えん」していきたいと思っています。

【おしらせ】

O~en (お~えん) はここにおいてあります【小平市内相談機関】
こだいらしないうだんきかん

☆創刊号から第7号までのバックナンバーも用意してあります。
そうかんごう だいごう ようい **※お気軽にご相談ください!!**
きがる そうだん

- ① 地域生活支援センターあさやけ : 小川東町4-2-1 小平元気村おがわ東内
ちいきせいけつかつしえん おがわひがしまち こだいらげんきむら ひがしな
TEL (042) 345-1741 / FAX (042) 345-1734
- ② 小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき : 学園東町1-19-13 福祉会館2階
こだいらしやうがいしやちいきじりつせいけつかつしえん がくえんひがしちやう ふくしかいかん かい
TEL (042) 341-6555 / FAX (042) 341-6220
- ③ 小平市障害者就労・生活支援センターほっと : 大沼町2-1-3 未来ワークセンター内
こだいらしやうがいしやしやうろう せいけつかつしえん おおぬまちやう みらい わーくせんたー ない
TEL・FAX (042) 316-9078
- ④ 小平市立障害者福祉センター : 小川西町5-25-15
こだいらしりつしやうがいしやふくし おがわにしちやう
TEL (042) 343-4976 / FAX (042) 344-3244
- ⑤ 小平市立あおぞら福祉センター : 鈴木町1-472
こだいらしりつあおぞらふくし すずきちやう
TEL (042) 326-4980 / FAX (042) 326-4976
- ⑥ 東京都多摩小平保健所 : 花小金井1-31-24
とうきやうとだま こだいらほけんじよ はなこがねい
TEL (042) 450-3111 / FAX (042) 450-3261
- ⑦ 小平市役所障害者福祉課 : 小川町2-1333 (健康福祉事務センター内)
こだいらしやくしよしやうがいしやふくしか おがわちやう けんこうふくしじむ ない
TEL (042) 346-9540・9542 / FAX (042) 346-9541

★O~en (お~えん) は、ホームページでも見ることができます。

<アドレス> <http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp>

ホームページでは以下のように進んでください。

[小平市社会福祉協議会](#) > [自立生活支援センターひびき](#) > [自立支援協議会](#) > 「お~えん」

【発行：作成】
はっこう さくせい

小平市地域自立支援協議会 情報部会
こだいらしちいきじりつしえんきやうぎかい じやうほうぶかい

【問い合わせ】
とਿਆ

小平市地域自立支援協議会 事務局
こだいらしちいきじりつしえんきやうぎかい じむきよく

小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき
こだいらししやう しやちいきじりつせいけつかつしえん

〒187-0043 小平市学園東町1-19-13
こだいらしがくえんひがしちやう

福祉会館2階
ふくしかいかん かい

TEL (042) 341-6555
FAX (042) 341-6220

じかいはっこう
次回発行は、
へいせい ねん がつ
平成26年5月を
よてい
予定しています。

小平市障がい者生活支援ガイド「お~えん」では、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。
上記の事務局（小平市障がい者地域自立生活支援センター ひびき）までお寄せください。よろしくお願ひします。